

実施計画書(記載例)

該当する区分に○をつけて
ください。

1 研究テーマ

○テーマ区分: (1) 環境 (2) 社会 (3) 経済 (4) 総合

研究テーマ	SDGsゴール
	ターゲット番号
(補助研究の名称を記載してください。)	SDGsの17のゴールのうち、補助研究に関するゴールの番号を記載ください。(複数可)

2 研究概要

(研究の目的や概要を簡潔に記載してください。)
※交付申請書または申請フォームの「補助研究の目的及び内容について」と同内容での記載も可です。

3 研究の背景と目的

(研究を実施するに至った背景・経緯及び研究を実施する目的を詳細に記載してください。)

※項目は、研究を実施する意義・重要性(「なぜ、この研究を実施する必要があるのか」)や目的(「この研究を実施することによって、最終的に何を明らかにしようとしているのか」)を見極めるうえで、重要な審査項目となります。

※専門的な学術用語の使用はできるだけ避け、分かりやすく記載してください。どうしても使用する場合は用語の説明をしてください。

※強調したいポイントは太字やアンダーラインを引くなど工夫してください。

4 調査・研究の方法

(調査対象や地域、調査規模や手法、データの分析方法、実施体制等)

※支出の必要性が分かるよう、各費目と関連づけながら記載してください

(研究の方法を詳しくかつ明確に記載ください。)

※本項目は、研究の目的を達成するために、具体的にどのような研究手法を用いるのか、その妥当性や有効性、研究遂行能力等を審査するための重要な項目となります。

※専門的な学術用語の使用はできるだけ避け、分かりやすく記載してください。どうしても使用する場合は用語の説明をしてください。任意様式の別紙をつけていただいても構いません。

※強調したいポイントは太字やアンダーラインを引くなど工夫してください。

5 期待される研究成果とSDGs推進への貢献

(研究によって得られる成果及び対馬市のSDGs推進にどのように貢献できるのか具体的に記載してください。)

※本項目は、研究によって得られる成果及び対馬市のSDGs推進にどのように貢献できるのかを審査するための重要な項目となります。

※専門的な学術用語の使用はできるだけ避け、分かりやすく記載してください。どうしても使用する場合は用語の説明をしてください。任意様式の別紙をつけていただいても構いません。

※強調したいポイントは太字やアンダーラインを引くなど工夫してください。

行程表【令和7年度対馬市SDGs研究奨励補助金】（記載例）

研究の名称 対馬における●●●●●に関する○○○○による調査研究						
研究メンバー 対馬太郎、対馬次郎、対馬花子 合計3名						
日時	行程	概要	支出費目	計算式		経費額 (円)
				単価(円)	数量/単位	
7月上旬	現地調査①	東京駅→博多駅（新幹線） 対馬太郎、対馬花子分	旅費	22,200	2 人	44,400
7月上旬	現地調査①	博多駅→博多ふ頭（路線バス） 対馬太郎、対馬花子分	旅費	260	2 人	520
7月上旬	現地調査①	博多港→厳原港（フェリー2等※学生割引） 対馬太郎、対馬花子分	旅費	5,030	2 人	10,060
7月上旬	現地調査①	民宿ヤマネコ（2名×3泊※素泊まり） 対馬太郎、対馬花子分	旅費	5,500	6 泊	33,000
7月上旬	現地調査①	レンタカー使用（3日間） ※見積書参照	使用料及び賃借料	19,800	1 式	19,800
7月上旬	現地調査①	レンタカーガソリン代 26.5ℓ（概算）	需用費（燃料費）	230	26.5 L	6,095
7月上旬	現地調査①	対馬空港→福岡空港（通常料金） 対馬太郎、対馬花子分	旅費	13,700	2 人	27,400
7月上旬	現地調査①	福岡空港→羽田空港 対馬太郎、対馬花子分	旅費	19,350	2 人	38,700
7月上旬	現地調査①	羽田空港→東京駅 対馬太郎、対馬花子分	旅費	510	2 人	1,020
8月上旬	アンケート調査	アンケート実施に係る切手代 2回（送付・返信用）×50件	役務費（通信運搬費）	110	100 枚	11,000
9月中旬	現地調査②	東京駅→羽田空港（在来線） 対馬次郎分	旅費	510	1 人	510
9月中旬	現地調査②	羽田空港→福岡空港 対馬次郎分	旅費	19,350	1 人	19,350
9月中旬	現地調査②	福岡空港→対馬空港（通常料金）	旅費	13,700	1 人	13,700
9月中旬	現地調査②	対馬市内バス移動（1日フリーパス） 2日分 対馬次郎分	旅費	1,040	2 人	2,080
9月中旬	現地調査②	域学連携滞在・拠点施設利用（2泊・無料） 対馬次郎分	旅費		2 泊	
9月中旬	現地調査②	厳原港→博多港（ジェットfoil ※学生割引） 対馬次郎分	旅費	8,700	1 人	8,700
9月中旬	現地調査②	博多ふ頭→福岡空港（路線バス） 対馬次郎分	旅費	260	1 人	260
9月中旬	現地調査②	福岡空港→羽田空港 対馬次郎分	旅費	19,350	1 人	19,350
9月中旬	現地調査②	羽田空港→東京駅 対馬次郎分	旅費	510	1 人	510
12月下旬	対馬学フォーラム	東京駅→博多駅（新幹線） 対馬太郎、対馬花子分	旅費	22,200	2 人	44,400
12月下旬	対馬学フォーラム	博多駅→博多ふ頭（路線バス） 対馬太郎、対馬花子分	旅費	260	2 人	520
12月下旬	対馬学フォーラム	博多港→厳原港（フェリー2等 ※学生割引） 対馬太郎、対馬花子分	旅費	5,030	2 人	10,060
12月下旬	対馬学フォーラム	民宿ヤマネコ（2名×1泊※素泊まり） 対馬太郎、対馬花子分	旅費	5,500	2 泊	11,000
12月下旬	対馬学フォーラム	厳原港→博多港（ジェットfoil ※学生割引） 対馬太郎、対馬花子分	旅費	8,700	2 人	17,400
12月下旬	対馬学フォーラム	博多ふ頭→福岡空港（路線バス） 対馬太郎、対馬花子分	旅費	260	2 人	520
12月下旬	対馬学フォーラム	福岡空港→羽田空港 対馬太郎、対馬花子分	旅費	19,350	2 人	38,700
12月下旬	対馬学フォーラム	羽田空港→東京駅 対馬太郎、対馬花子分	旅費	510	2 人	1,020
1月下旬	-	研究成果物印刷費 100部	需用費（印刷製本費）	330	100 部	33,000
研究期間中	-	研究消耗品費（コピー用紙等他）	需用費（消耗品費）	10,000	1 式	10,000
経費合計額						423,075

収支予算書(記載例)

〈収入〉

単位：円

費 目	予算額	積算内訳
補助金	338,000	SDGs研究奨励補助金(補助対象経費×4/5) ※千円未満切り捨て ※補助額上限50万円
自己資金	85,075	
その他資金		
合計	338,000	

〈支出〉

費 目	予算額	積算内訳
1. 報償費		
2. 旅費	343,180	・現地調査①に係る旅費 155,100円 ・現地調査②に係る旅費 64,460円 ・対馬学フォーラム参加に係る旅費 123,620円
3. 需用費	49,095	
(1) 消耗品費	10,000	研究消耗品費(コピー用紙等他)
(2) 燃料費	6,095	現地調査①時レンタカーガソリン代
(3) 印刷製本費	33,000	研究成果物印刷費 100部
(4) 光熱水費		
4. 役務費	11,000	
(1) 通信運搬費	11,000	アンケート実施に係る切手代 2回(送付・返信用)×50件
5. 委託費		
6. 使用料及び賃借料	19,800	現地調査①時レンタカー代 ※見積書参照
合計	423,075	

補助金振込先

金融機関名	対馬	銀行 金庫 農協・漁協	ヤマネコ支店
口座名義人	対馬 太郎	口座番号	普通 1 2 3 4 5 6 7 8 9 当座

研究メンバーの構成(記載例)

1	氏名	対馬 太郎	男・女・無回答	年齢	22
	所 属	〇〇大学 〇〇学部			
	住所	〒123-4567			
		〇〇県〇〇市〇〇1-1-1			
		TEL : 090-1234-5678	E-mail : tsushima@~.com		

2	氏名	対馬 次郎	男・女・無回答	年齢	35
	所 属				
	住所	〒817-0000			
		長崎県対馬市〇〇町〇〇1-1-1			
		TEL : 090-9876-5432	E-mail : yamaneke@~.com		

3	氏名	対馬 花子	男・女・無回答	年齢	17
	所 属	〇〇高校〇〇科			
	住所	〒234-5678			
		〇〇県〇〇市〇〇2-1-1			
		TEL : 080-1234-5678	E-mail : shiratake@~.com		

4	氏名		男・女・無回答	年齢	
	所 属				
	住所	〒			
		TEL :	E-mail :		

5	氏名		男・女・無回答	年齢	
	所 属				
	住所	〒			
		TEL :	E-mail :		

(注) 研究メンバーが5名を超える場合は本様式を複写し、通し番号を変更して使用すること